



東京目黒ワイズメンズクラブ

ホームページ: <http://www.asahi-net.or.jp/uu9y-ktu/index.html>
E-mail: meguro-ys@yahoogroups.jp



156-0051 世田谷区宮坂 3-23-2 東京YMCA 南センター TEL 03-3420-5361 FAX 03-3420-5363

2014年11月号 No.579

会長 村野 繁 E M C 村野 絢子
副会長 中田清子 B F 山口愛二
書記 福島 正 プリテン 福島 正 (編集)
会計 根本幸子 プリテン 村野 繁 (印刷)
担当主事 山梨雄一 プリテン 村野 繁 (発送)

クラブ会長 村野 繁 (東京目黒) 老いても、前に進もう
東新部部长 太田勝人 (東京世田谷) 原点を見つめ、充実・飛躍
そして楽しもう
東日本区理事 田中博之 (東京) 誇りと喜びを持って
アジア地域会長 岡野泰和 (大阪土佐堀) 未来を始めよう、今すぐに
国際会長 Isaac Palathinkal (インド) 言葉より行動を

11月の強調テーマ

・ワイズ理解:

11月10日は「ワイズデー」です。「ワイズメンズクラブ運動が、YMCAと協働しながら初を忘れないようにしています。

・ファミリーファースト:STOP! HIV/AIDS 運動の継続推進のためにFF献金一人当たり500円以上を目標にしています。

今月の聖句

イエスは言われた。「『母を敬え、また、隣人を自分のように愛しなさい。』」そこで、この青年は言った。「そういうことはみな守ってきました。まだ何か欠けているのでしょうか。」イエスは言われた。「もし完全になりたいのなら、行って持ち物を売り払い、貧しい人々に施しなさい。そうすれば、天に富を積むことになる。それから、わたしに従いなさい。」

マタイによる福音書 19章 19~21節 根本幸子/選

卓話者 浅羽俊一郎さん

今期、東京山手クラブの会長さんです。



昨年、山手クラブ60周年記念会では、ジャズバンドで、ピアノを弾き、リーダーとして素晴らしい演奏を聴かせていただきました。1950年東京生まれ。1974慶大経済卒 東京YMCA就職。1984年UNHCR就職、主な勤務地 パキスタン、ソマリア、モザンビーク、スイス(ジュネーブ本部)、ボスニア、日本緊急支援チーム タジキスタン、ダゲスタン 2007年退職、以後YMCA

で会員活動、東日本区ユース事業委員、東京YMCA国際事業委員として奉仕され、6/29~7/5世界YMCA大会にも参加されました。

11月 本例会

日時 11月12日(水) 13時30分~15時30分
会場 東京YMCA 南センター 2階会議室
会費 300円 ビジター・ゲスト 歓迎

11/10(月)までに福島書記 03-3371-2122へご連絡ください

司会	根本幸子
開会点鐘	会長 村野 繁
ワイズソング	一同
聖書朗読・ひと言・お祈り	司会者
ゲスト・ビジター紹介	会長 村野 繁
ティー・タイム	
YMCA報告	主事 山梨 雄一
卓話「現場と生活 私のUNHCR体験 -」	
	東京山手クラブ会長 浅羽俊一郎さん
おめでとう(誕生日・結婚記念日)	
みんなで唄おう もみじ	一同
閉会点鐘	会長 村野 繁

10月例会記録

在籍会員数	7名	メン	5名	使用済み切手	
内・功労員数	(2名)	メネット	1名	累計	4.585kg
メーキャップ	1名	ビジター	3名		
出席率	100%	ゲスト	1名	フルトップ	
YY指数	200%	本例会出席者数	10名	累計	1.350kg

(姫路クラブ) (目黒クラブ)

お誕生日おめでとう

5日 八杉光春さん ありません

結婚記念日おめでとう

4日 岩崎圭三郎・由紀子さん 6日 福島正・多恵子さん
22日 八杉光春・美穂さん 19日 中田清子・成さん

第二（事務）例会

11/12 本例会に引き続き行います。

インベーションキャンペーン

～ 実施中です。～

例会にたくさんの知人・友人を誘いましょう。
実施期間 実施中 ～ 2015年4月30日まで

第2回東新部評議会

11月15日(土) 13:00～17:00
在日本韓国YMCA (AYC)

東京YMCA会員協議会

ソシアスフォーラム 2014

11月15日(土)～16日(日)
山中湖センター

「ユースを育てるYMCA ユースが担うYMCA」
参加費 8,000円

東日本区メネットのつどい

11月29日(土)

第2回被災地を訪ねて ～宮城県塩釜市 桂島～

11時仙台駅出発 11:40 塩釜マリゲート(貸切船)

12:15～14:15 民宿(島のお母さんの手作り昼食・メ
ネット会・講話) 15:20 桂島 仙台駅着 16:30

参加費 3,000円

第18回日本YMCA大会

11/22(土)～24(月) 東山荘

テーマ:「BEYOND～越えてゆこう、出会うために」

これからの行事予定

11/01(土) 次期部長・事業主任研修会(同盟)

11/10(月) ワイズデー

11/12(水) 東京目黒クラブ本例会&第二例会
(南センター 2階会議室)

11/15(土) 第2回東新部評議会(AYC)

11/15(土) 親と子のハーモニーコンサート
(玉川聖学院・谷口ホール)

11/15(土)～16(日) 東京YMCA会員協議会
「ソシアスフォーラム」: 山中湖センター

11/16(日) おひさまGリーダー評議会
(田園調布幼稚園)

11/22(土)～24(祝) 日本YMCA大会
(東山荘)

11/29(土) 東日本区メネットのつどい
(宮城県塩釜市 桂島 訪問)

12/10(水) 東京目黒クラブ本例会&第二例会
(南センター 2階会議室)

2015年

1/10(土) 在京クラブ合同新年会

(桜美林大学多摩アカデミーヒルズ)

1/14(水) 東京目黒クラブ本例会&第二例会
(南センター 2階会議室)

10月 本例会 報告

10月8日(水) 13時30分～15時10分
南センター 2階会議室

中田清子さ
んの司会、村
野会長によ
る開会点鐘、
一同でワイ
ズソング、司
会者の聖書
朗読と、ひと
言、祈りが捧



げられた。中田さんの「ひと言」では、日本福音ルー
テル教会で受洗して63年、最近、近くのまぶね教会
(日本基督教団)の礼拝に出席し聖書学者の荒井献先
生と出会い、改めて旧約聖書の学びを深くしているひ
と言でした。お楽しみのティータイムの間にある筈の
YMCA報告は、山梨主事が山手センターの会議に出
かけ、小宮さんも不在とあって、村野会長が南センタ
ー活動委員として諸行事の予定を説明。卓話には教員免
許状、宅建、行政書士、生保、損保の監督業務等、い
ろんな資格をお持ちの高橋隆雄さんを迎えて「関ヶ原
を訪ねて」地理、歴史(時代背景、人物図鑑)を詳しく
説明していただいた。1598年秀吉死去に始まり、
大企業のオーナー格の家康(関東255万石)に対し、
小規模の店の番頭役の三成(佐和山19万石)が1600
年9/15午前8時に合戦の火ぶたが切られ、開戦当
初東軍7万4千人、西軍8万4千人、「鶴翼の陣」
をはった西軍が午前10時頃までは優位、しかし11
時に若干19才の小早川秀秋が家康に発砲されて、つ
いに西軍を裏切り形勢逆転、劣勢の東軍が、
開戦より僅か6時間あまりで天下分け目の決戦を勝
利した。両軍の武将の配置や、闘いぶり、現在は雄大
な美濃平野を一望できる観光名所、歴史民俗



資料館や、たくさん点在する史跡の紹介も含めて1時
間があっという間に過ぎた感じでした。最後はDBC
の姫路クラブの菅原好紀さんが選んだ歌「旅愁」を全
員で斉唱して閉会した。

出席者は【メン】中田、根本、福島、村野繁、村野絢子、【メネット】福島、【ビジター】高橋千代子、権藤徳彦（東京コスモス）、村田榮、【ゲスト】高橋隆雄、計 10 名、山梨主事は Y M C A 行事と重なり、メーキャップ、出席率 100%。Y Y 指数 200%

10 月 第二例会 報告

10 月 8 日（水）15:20～15:50

南センター 2 階会議室

A) これからのクラブ活動

1. CS 事業を探る。2. 例会の誘う方々の発掘
3. Y M C A サービスとして 10/26 の南センターバザーに協力する。

B) 沖縄 Y M C A から車両購入支援金に対する礼状が届いた

C) アジア地域大会 HCC 事務局（京都パレスクラブ）より、第 26 回アジア地域大会が 2015 年 7 月 31 日～8 月 2 日の日程でウェスティン都ホテル京都にて開かれる時のマーシャル募集が届いている。

D) 卓話予定者

11/12（水）浅羽俊一郎さん（東京山手クラブ）

12/10（水）村杉 一榮さん（東京北クラブ）

1/14（水）原 俊彦さん（富士五湖クラブ）

2 月は例会日が祝日になるので、1 日ずらして 2/12（木）に開催する。

3/11（水）南センターのリーダーの諸報告

E) 山手センターでの会議から帰ってきた山梨主事が第二例会に間に合い、Y M C A 報告を聞く。10/5（日）実施したおひさまグループはに雨のため目的地を子どもの城に変更した。雨天決行に対する保護者の対応についての感想が報告された。

出席 = 中田、根本、福島、村野、村野（絢）、山梨、6 名

stop HIV/AIDS column

毎年 12 月 1 日 が世界エイズデーとされている。ただし、時差の関係等から全地球上に存在する国が一斉に 12 月 1 日 にならない為、あくまでもその国の現地時間で 12 月 1 日 と定められている。世界中でさまざまなイベントが行われ、今もなお世界中でエイズで苦しんでいる人に向けてメッセージを送り、啓発活動を通じてエイズまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消を図ることを目的としてキャンペーンを行う。日本においても シンポジウム や学会などが、12 月 1 日近辺に開催されている。1988 年 から 2004 年 までは、国際連合エイズ合同計画 によって運営されていた。2005 年 からは The World AIDS Campaign (WAC) によって運営されている。シンボルは、レッドリボン。これは、感染者・患者への連帯を表す。(村野 繁)

銀座での第18回東新部部会

10月11日（土）13:00-16:30まで銀座ライオン5階ホールにて第18回東新部部会を張替実行委員長の司会（第1部・第2部）のもとに開催いたしました

当日は東新部のクラブも含めて首都圏にあるクラブはもとより、遠く京都、沼津、熱海、甲府、等々のクラブからもご参加し、108名の参加者になりました。東新部の役員は1



2 時前に会場に集まり、参加者を迎える準備をしていました。銀座 4 丁目から来る人、新橋から来る人に対応して東京南センターのリーダー諸君が街頭に出て、道案内をしていました。伊藤氏の講演は表題を飛び越えて取材で出掛けた外国の状況を伝えてくれました。阿部首相は積極的平和政策を唱えていますが、日本国憲法の第 9 条を実践したコスタリカの例を挙げ積極的平和外交を実施している国がある。第 9 条の石碑を広場に建てている国の話、第 9 条は持っているだけの日本と実施している国を比べて残念に思いました。懇親会が始まりキャンプソングを歌いながらとはいかず、ズンゴロ節の作詞作曲家浅羽氏のピアノ伴奏で、南センターのリーダー諸君のコーラスとなりました。元南クラブ蔵地浩氏も参加してくれていました。

秋の妙高ツアーに参加しました



妙高高原ロッジ玄関にて

(左から)：伊藤、神山、高橋、福澤、飯野、太田、張替、櫻井、佐藤、松香、星野、石井、中田、小原

11 月 18 日(土)東京 Y M C A 妙高高原ロッジで“東日本大震災復興支援チャリリティーコンサート”が開催された。ロッジのロビーには信越妙高クラブの方々の努力の成果で、沢山のバザー品が並び大変な盛況で品物の売れ行きも仲々の様子だった。

シャンソン・コンサートの会場には(ロッジの食堂)100 名余りのお客様で開演を待つ暫しの時を互いに楽しんだ。初秋の山里で聴くシャンソン・コンサートに期待して…。その期待通りシャンソンに酔いしれる思いをしたひと時だった。忘れないこの味は“茸鍋の中に骨付きチキン”が入って一層スープの旨味が味わえた。そんな井関さんの歌声に元気を貰えたコンサートだった。

翌 19 日(日)快晴に恵まれ、福澤さんのご厚意に 7 名のクラブメンバーは笹ヶ峰へドライブに案内して戴き短かなトレッキングも楽しんで高原の美味しい空気を一杯吸って、名物の“そば”を戴き黒姫駅ま



で送って戴いて帰途についた。笹ヶ峰のグリーンハウスのソフトクリーム濃厚な味、紅葉した笹ヶ峰高原の美しい景色を・・・感

謝！！ (中田清子)

南センターバザー

今年のバザーでは、「知って繋がる広がる輪～ファミリーバザー～」をテーマに準備を進めてきました。前日の準備から、Y's、会員の方と一緒に看板を作ったり、食材と一緒に切って袋詰めする中で、たくさんの会話が生まれ、全員で楽しく準備することが出来ました。当日は、定例野外活動に参加している子や、世田谷地域に住んでいる方、昔からYMCAに関わる方など、多くの方が南センターに集まって、笑顔溢れるバザーになりました。ボランティアリーダーやY's、会



員の方をはじめ、世田谷地域に関わる様々な人がひとつになって、バザーを成功させることが

出来たと思っています。また、バザーが終わったあとにはY's、会員の方とボランティアリーダーの親睦会が開かれ、皆でキャンプソングを歌って楽しむなど、仲を深めることが出来たように思います。

バザー実行委員長 保坂 天蒼(てんぐ)

☆にこにこメッセージ☆

根本幸子ワイス

「関ヶ原を訪ねて」高橋隆雄さんのお話が非常に面白く、また、ためになりました。歴史好きの私にとっては、ほんとうに色々、まだまだ判らないことが多かったのですが、詳しいお話でよく分かりました。まだまだ知らないことが多いのだということも判りました。それにしても、生死をかけた戦に明け暮れた当時の武士はたいへんだったのですね。

村野 繁ワイス

高橋隆雄さんの年季の入った趣味の歴史探訪を楽しく聞きました、本当に古戦場関ヶ原を訪ねてみたくなりました。

福島 正ワイス

第41代日本区理事の太田太さんが10/26召天された報に接した。その年、村野繁さんが日本区書記、福島多恵子がメネット事業主任を担当して、目黒クラブとしてご縁が深かった。1996年のフレデリクトン国際大会も、大会後のプリンスエドワード島もご一緒した楽しい写真をみて、ご冥福を祈りながら感慨にふけています。

YMCAニュース

(山梨雄一)

10月26日(日)天候にも恵まれ、南センターバザーが行われました。今年度は「知ってつながる、広がる輪・ファミリーバザー」と題して地域、会員、ワイス、リーダー、スタッフ、企業ボランティア(ジョンソンコントロールズ株式会社より19名)など南センターに集う多くの方々との良き交流の場として実施出来たように思います。売上総額362,650円、純益金261,717円については、ボランティアリーダー養成募金、東日本震災復興支援募金、国際協力募金として大切に使用させていただきます。

<南センタースケジュール>

- 11月14日(金) 冬季リーダー座学トレーニング (スキー指導法)
- 11月15日(土)～16日(日) ソシアスフォーラム (山中湖)
- 11月16日(日) 定例野外活動あおぞら(経堂)/おひさま(田園調布)
- 11月18日(火) 南コミュニティー活動委員会 (バザー評価)
- 11月23日(日) 定例野外活動冒険くらぶ/アドベンチャークラブ(二子玉川)
- 11月29日(土) 南センター・リーダー スキートレーニング(初滑り)

11月のうた

今月は、根本幸子さんが選ばれた歌です。

紅葉

高野辰之作詞・岡野貞一作曲/文部省唱歌(二年)

秋の夕日に照る山紅葉(やまもみじ)、濃(こ)いも薄(う)いも数ある中に、松をいろどる楓(かえで)や蔦(つた)は、山のふもとの裾模様(すそもよう)。

溪(たに)の流(ながれ)に散り浮く紅葉、波にゆられて離れて寄って、赤や黄色の色様々に、水の上にも織る錦。

あとがき

友人の車で安中教会を訪問しました。帰りに碓氷湖を見物したら、たまたま今月の歌に選ばれた高野辰之の「紅葉」の歌詞を彫り込んだモニュメントと、作詞したいわれも詳しく記されたのを見て、感銘深く、紅葉真っ盛りの秋を心ゆくまで堪能しました。(福島)